

美しい国づくり・川づくり そして人づくりを目指して

皆川 朋子 熊本大学大学院自然科学研究科准教授

自然豊かな川、美しい日本の風景 を次世代に継承するために

大学院修士課程を修了した後、建設省土木研究所（現・独立行政法人土木研究所）に18年勤務。そこでは河川環境の保全と再生に関する研究を行っていました。

私の専門は、河川環境に配慮した川づくりに関わる研究分野で、土木工学（河川）と生態学を含む領域です。1997年に『河川法』が改正され、それまでの河川整備の目的であった“治水”“利水”のほかに、“環境”が加えられました。自然環境や生態系に配慮した川づくりへと大きく転換が図られたわけです。この大きな流れのなか、私の研究分野も、現在行っている河川環境の保全・再生が主となり、現在に至っています。

大学教員となり4年。自然豊かな川、美しい日本の風景を次世代に継承していくことを目標に、研究、教育を行っています。河川の自然環境の保全・再生を行うためには、河川の構造がどのような要因（地形、地質、流量、土砂等）により成立しているのか、生物

が生活史を全うするためには、どのような環境が必要であるのかといった知見が必要です。そのため、生物や物理環境等のフィールド調査やシミュレーション等を行いながら、河川環境の理解や評価を進めています。また、地域住民や行政、学生、研究者たちと共に、自然と共生した豊かな川づくりを実現するための活動や、環境教育を行っています。

大学では、地域に根ざした研究ができること、地域づくりに係られること、学生が成長する姿がみられることに大きな魅力とやり甲斐を感じます。

自分のペースで夢に近づこう

現在女子学生であるみなさんにお伝えしたいことは「**気負わず、失速しないように自分のペースで、着実に自己実現していったほしい**」ということ。まだまだ女性はごく少数。そして、仕事と家庭との両立は時間的にも体力的にも厳しいのが現実です。焦ることなく、一歩ずつ前進していったほしいと願います。



河川環境教育の様子



ダム貯水池の環境整備に関する地域住民とのワークショップ



Tomoko MINAGAWA

工学部
修士課程
土木研究所（研究員）
大学教員

土木研究所での経験は貴重でした！

One day

6:00 起床
6:30 朝食準備→朝食
9:30 就業（講義時間により変動）
講義・研究指導・論文
会議など
19:00 終業
20:30 帰宅→家事・夕食
24:00 就寝

◎宝もの
子ども
◎リフレッシュ方法・落ち着く場所
お風呂

profile

みながわともこ／大学院修士課程修了後、建設省土木研究所（現、独立行政法人土木研究所）で、河川環境の保全・再生に関する研究を行う。その後、大学教員となり、研究の他、地域住民、行政、学生、研究者らと共に、自然との共生した豊かな川づくりを実現するための活動や、環境教育も行う。豊かな国土を実現する土木技術者を育て、美しい日本の風景を後世に継承していくことが目標。



アンケート
より

Q.「女性」教授の全体に占める理想の割合は？ ※熊本大学では平成25年4月時点で9.4%
10%以上 13% 20%以上 8% 30%以上 25% 性別は無関係 54%